

78 9年前、そして現在

保護者の皆様には今回の新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な点でご心配をおかけしております。また、臨時休業に伴う各ご家庭での対応につきまして、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

子どもたちの下校指導のため昇降口にいました。

「さようなら」「またあした」「気をつけて帰るんだよ」…

突然、昇降口の蛍光灯が消えました。

そのあと、ひと呼吸を置いてから大きな揺れが襲ってきました。

9年前の3月11日午後2時46分のことです。

あの日から9年の月日が経ちましたが、昨年の12月現在、亡くなられた方1万5899人、行方不明の方2529人、今年2月現在での避難されている方4万7737人。復興が進んでいる地域ももちろんありますが、この数字を見る限り、まだまだこの先も続くという感否めませんし、決して風化させてはいけないことだと思います。

今、世界的に新型コロナウイルス感染症の脅威が広がっています。ご存知のとおり学校は25日(水)まで休校、卒業式は教職員と6年生のみの参加、緊急受け入れ体制は25日(水)まで継続、修了式や離・退任式の簡略化、その他入学式は、始業式は…先が見えない不安な状況が目の前にあります。

9年前の福島・岩手・宮城3県の小学校は、おそらくこの状況の比ではなかったことでしょう。ご家族が亡くなられてしまった、離れ離れになってしまった、家を失った、放射線等の影響で強制退去させられた、食事が無い、毛布もない、横になるスペースさえない…それでも当時の被災地の皆さんは立ち上がり、一步一步、今もあゆみ続けていらっしゃいます。

厳しい状況下です。予定通りに様々なことが運びません、それでもなんとか日常を取り戻すべく、できることに一つずつ取り組んでいくしかないのですね。